

令和5年度 第1回 川崎市社会教育委員会 青少年科学館専門部会議事録

日時 令和5年6月28日(水) 14:00~15:20

会場 川崎市青少年科学館(かわさき宙と緑の科学館) 自然学習棟2階学習室

出席者(敬称略)

- (1) 委員 (公募市民) 服部公俊(部会長)、南條邦子(副部会長)
(学識経験者) 佐藤武宏、山岡均、常喜豊
(教育職員) 高橋泉
(家庭教育関係) 眞壁総子
- (2) 事務局 久保館長、弘田、高中、杉浦、渡邊(司会進行)、内藤、服部、齋藤(記録)
上田(生田緑地共同事業体)
- (3) 傍聴者0人

1 開会(渡邊)

事務局より開会告知、会議の成立、傍聴者受入(定員5名)、記録(録音及び筆記)作成及び会議記録公開について周知(傍聴者なし)。

2 委員の交代に伴う委嘱状の交付(渡邊)

当該委員に委嘱状を机上配布の旨を案内

任期: 令和5年6月1日から令和6年4月30日まで

3 館長挨拶(久保館長)

- ・令和5年度第1回青少年科学館専門部に御出席いただき、誠にありがとうございます。
- ・この専門部会は平成28年度から川崎市社会教育委員会議の組織に位置付けられ、所掌事務は、「科学館の運営に関し意見を述べるとともに、事業評価を行う。」ことです。科学館専門部の任期はあと1年、今年度第1回目の会議となりますが、これからも引き続き、当科学館の充実・発展に向けて、御指導、御支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
- ・昨年度末には、青少年科学館第2期運営基本計画を策定することができました。
- ・令和元年度以来、新型コロナウイルスなどの感染症対策に取り組んできましたが、5類移行後、ようやく当館においてもコロナ前の状況に近づいてきました。
- ・7月4日からプラネタリウムの定員も従来の200人に戻り、コロナの間休止していた、乳幼児向けプラネタリウム投影である「ベビー&キッズアワー」も7月6日から再開します。
- ・当館初の試みとして、夏休みには小学生向けに、学芸業務の体験プログラムを開催します。これは、子どもたちが動植物の展示解説を来館者に対して行い、その後プラネタリウムの投影機材を操作して星空を解説するものです。
- ・今年がプラネタリウム誕生100周年ということもあり、夏休みに企画展を行います。昨年度はハード、機械の部分を主なテーマとしていましたが、今年度はソフト、番組制作などをテーマとしています。
- ・当館のホームページ上に、プラネタリウムの番組を企画・制作し、肉声で生解説を行っている5人の職員を紹介するページを作成したので、後ほど御覧いただければと思います。

- ・来年について、大正 13 (1924) 年に川崎、大師、御幸の 2 つの町と 1 つの村が合併することにより市制を施行して以来、令和 6 (2024) 年 7 月 1 日に市制 100 周年を迎えます。また、同じ年に、第 41 回全国都市緑化かわさきフェアの開催が決定し、この生田緑地がコア会場の 1 つとなっており、当館を含めて生田緑地全体が様々な事業を行うこととなります。
- ・今後も様々な活動を通じて、さらにより多くの方々に親しまれ愛される科学館として、川崎の自然・天文・科学の普及と発展に努め、地域の多様な主体と連携し、地域の活力の向上に寄与できるよう、魅力ある科学館づくりを推進してまいります。
- ・本日の会議においても、委員の皆様から様々な御指導・御助言を賜りますようお願いいたします。

4 委員・館職員自己紹介

5 資料確認 (渡邊)

6 議題

議事進行 (服部部会長)

次第の 5 議題 令和 5 年度予算・事業計画について

(1)「1 事業内容と予算」について事務局より説明

渡邊：事業名及び事業内容と、今年度、前年度予算額の増減を示している。

- ・「青少年科学館運営管理事業費」博物館としての事業に関する諸経費
昨年度まで独立していた「21 世紀子どもサイエンス事業費」の予算を統合、天体望遠鏡の赤道儀修繕料、軽自動車のリースの開始などから予算が 635 万円ほど増加。
- ・「青少年科学館指定管理経費」今年度から第 3 期の指定管理期間となる。約 2 千万円の増。
- ・「メガスター運営経費」メガスター (Ⅲフュージョン) の 20 年保守計画に基づく計上。
今年度の保守委託約 1200 万円の増。
- ・「21 世紀子どもサイエンス事業費」青少年科学館管理運営事業費に統合したため 0 円。
- ・「ホトケドジョウ人工飼育事業費」横ばいで推移。
- ・「運営基本計画策定事業費」昨年度中に第 2 期川崎市青少年科学館運営基本計画を策定したため計上なし。
- ・全体とて、指定管理料を含め、約 1 億 3800 万円が当館の今年度当初予算

【質疑応答】

南条委員 玉手箱が目玉企画でもあるが、予算の統合により減額となっているか。

杉浦 青少年科学館運営管理事業費として科学系事業費としては増額計上となっている。

久保館長 予算上で事業名を統合しているが「21 世紀子どもサイエンス事業」としてはある。提示した資料ではわかりづらくなってしまった。

山岡委員 メガスターの点検費が今年増額とのことだが、今後も増額なのか。

弘田 メンテナンスの内容によって年度毎の金額は異なる。

服部部会長 全体の予算が増額となっているが、保守の部分が大きいのか。

渡邊 主に指定管理料とメガスターが大きく増額となっている。

服部部会長 指定管理者が変わったということか。

渡邊 指定管理者は変更していない。他館や緑地全体とのバランス等によって増額となっている。

服部部会長 予算については承諾とします。

(2)「2 事業計画 (1)収集保存事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

・「収蔵資料の収集・分類・整理（台帳化）」

昆虫資料を中心に新規資料の作製を進める。また、収蔵庫にある既存の昆虫標本のうち未登録資料の整理・登録（電子台帳化）として 1,000 点を目標に進める。5 月末時点で、新規資料として昆虫資料 159 点を採集、102 点を展翅・展足中。既存の昆虫標本の未登録資料 112 点を電子台帳に登録。

・「GBIF 等国内外機関への資料情報の提供」

「サイエンスミュージアムネット (S-Net)」「地球規模生物多様性情報機構 (GBIF) への資料データを提供することで国内外への収蔵資料情報を公開。本年度は、植物標本等、資料 2,250 点の提供を予定。

【天文分野】 弘田

・「プラネタリウム番組のアーカイブ化」

毎月行っている一般向け番組制作の際に収集した資料、画像、動画等の番組素材やプログラム等のアーカイブ化。資料のデータベース化について、他館の事例を調査するなどデータベースの構築と公開に向けた検討。

・「天文資料の整理保存」

故富田氏、故箕輪氏から寄贈された天文資料を整理保存し、目録を作成。番組アーカイブについては統一したフォーマットを作成してアーカイブの目録を作成。富田資料等については、紙資料のデジタル化と目録作成を進めている。

【科学教育分野】 杉浦

・「科学実験についての資料収集と保存・管理」

科学実験教室等で提出される計画書・報告書の管理及び実践事例集の作成を継続し、科学市民団体と取組や成果の共有。館内視聴や SNS 活用を踏まえて、科学工作を紹介する動画の制作。

実施状況として、計画書・報告書を開催の都度、管理・集約しているほか、科学工作を紹介する 10 分程度の動画を編集し、次の素材となる動画を制作中。

【質疑応答】

山岡委員 富田資料等について、市民等から問い合わせはあるか。

弘田 富田資料について市民から 1 件問い合わせがあった。昨年度は長野市、茅野市の博物館に資料の一部を調査・展示に活用していただいた。

常喜委員 自然分野の昆虫標本資料の未登録はどのくらいあるのか。

高中 さまざまあるが、甲虫目で電子台帳上の未登録が 5,000 点ほどあり、整理を進めている。

常喜委員 協力体制が必要なのではないか。

高中 隙間時間で採取をしつつ、既存のものも含めて整理していく。

佐藤委員 昆虫標本の未登録資料について 2 か月で 112 点登録とのことだが、このまま単純計算で 700 点位になるが季節的に 4、5 月では時間が割けないとか、秋冬には新規採取が減ってくるので既存の未登録作業が進むなどのイメージか。

高中 まずは、既存の電子台帳との照合・整理で1か月、その後、運用確認をしたうえで順次作業を進めていく。

服部部会長 収集保存では、量も多く大変と思うがよろしく。

(3)「2 事業計画 (2)展示事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

- ・「生田緑地の自然情報の発信」生田緑地における自然について、受付横の生田緑地マップや SNS などを活用してリアルタイムな情報発信を実施。受付横の生田緑地マップは2週間に1回程度、SNSは5月末時点で6回更新。
- ・「新たな自然史資料による常設展示の更新」生田緑地の四季だより、ピックアップテーブルで新たな標本・キャプションによる展示更新を実施。5月末時点で、四季だよりを年4回中1回更新、ピックアップテーブルを年10回中2回更新した。

【天文分野】 弘田

天文の展示事業について資料の1から6まではプラネタリウムに関するものである。

- ・「プラネタリウム一般投影」職員の自主制作により1か月ごとにテーマを変えて投影。
- ・「子ども向け投影」これまでに制作した番組を約2か月ごとに入れ替えて投影。
これまで、感染症対策のため座席定員を制限していたが、5月10日に制限を緩和し、一般投影は150席、フュージョン投影は100席とした。7月4日以降は通常の設定で、一般投影200席、フュージョン投影132席の予定。年度中に子ども向け新番組を1本作成予定。
- ・「星空ゆうゆう散歩」平日午後にシニア向け投影として実施しており、元職員の國司眞氏を講師に迎えて毎月開催。
- ・「ベビー&キッズアワー」令和2年度以降、感染症予防として休止していたが、7月から再開。祝日や学校長期休業期間等を除いた第1木曜日、第3水曜日に開催する。
- ・「プラネタリウム学習投影」小中高等学校それぞれの学習指導要領に沿った投影。幼稚園・保育園等を対象とした投影も実施。
- ・「星空自由空間」平日の一般団体による貸切利用として受入れるもの。貸切になることのメリットを活かし、投影内容等について利用者の希望に応じて対応。
- ・「天文関連展示」常設展示の他、プラネタリウム番組やイベントに関連した写真などのパネル展示を行う。プラネタリウムの誕生100周年を記念して、当館のプラネタリウムの舞台裏やプラネタリウムの歴史を紹介する企画展を開催。

【科学教育分野】 杉浦

- ・「市民協働の科学工作展示」として館内イベント等で取り組んだ科学工作物や原理をパネル展示や映像資料として公開していく。実施状況として、市民団体との協働にて展示内容の更新準備中。スマートフォンで視聴できるAR展示を継続し、デジタルサイネージを活用した工作動画などの映像資料を新たに展示。

【質疑応答】

服部部会長 星空ゆうゆう散歩の日に来て、小学生の姪の子供たちと観覧しようとしたら、小学生以下は入れないとのことだったが理由などはあるか。

弘田 星空ゆうゆう散歩はシニア向けであり、小学生以下の方はお断りしている。対象がシニアとい

うこともあり、雰囲気づくりの面もある。

服部部会長 星空ゆうゆう散歩の後の一般投影を観覧したが、星を追うのに矢印のみで、星座の絵が投影されなかった。絵があった方がわかりやすいのではないか。

弘田 一般投影については、解説に担当により異なるところもある。星座の絵については出すようになっているがご意見ありがとうございます。

(4)「2 事業計画 (3)調査研究事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

- ・「市域の生物調査」生田緑地を中心として、市域における動植物相解明を進めるための生息種の確認調査を行うとともに、モニタリングが可能な分類群については、生息状況把握のための実態調査を実施するもので、委託事業として4月から実施中。
- ・「市民の興味関心を高める調査研究の実施」外来種のムネアカハラビロカマキリについて、昨年度の幼虫期での採集圧による個体数抑制の効果を検証するために、生息状況の調査を7月から11月までの期間で実施予定。また、新たな調査研究の対象について検討していく。

【天文分野】 弘田

- ・「川崎市域の星の見え方調査」インターネットを通じた市民協働により夏と冬に実施。
- ・「天体の観測」太陽望遠鏡での白色光及びH α 光による観測のほか、アストロテラスや天体観測室の望遠鏡等を活用した観測を観測条件の良い時に随時行う。

【科学教育分野】 杉浦

- ・「市民の興味関心を高める調査研究の実施」授業活用をねらった教材研究を進める。玉手箱テーマから飛ぶタネを中心に植物の多様性について体験を通して学べるキットのブラッシュアップと、地層学習のデジタル教材の研究。現在は、地層学習のデジタル教材の原案を作成。

【質疑応答】

常喜委員 昆虫について、これからの調査研究の予定はあるか。

高中 具体的には未定。限られた時間での採取となっているが、その時間内でどのようなものを見つけられるかというのも調査研究となるかと考える。

山岡委員 川崎市域の星の見え方調査とあるが、川崎市は広いが、参加する市民は市内に満遍なく参加があるか。

弘田 年度によって偏りがあることもある。

服部部会長 地層のデジタル教材とはどのようなものか。

杉浦 学校現場でデジタル化が進む中で、川崎市小・中学校ではGIGA端末構想が展開されている。地層学習では実物サンプルと合わせてキットがあるが、これまでの資料を参考に、土のサンプルと共にクロムブックの端末で子どもが操作できるようなソフトについても学校と連携しながら原案作成・編集作業を進めていく。

服部部会長 具体的には学校現場で使用できるものなのか。

杉浦 そのとおり。教室で子どもたちが端末を使用した授業に活用できるような、副読本のイメージ。

(4)「2 事業計画 (4)教育普及事業」について事務局より説明

【自然分野】 高中

- ・「生田緑地観察会」生田緑地の地質、野鳥、植物、昆虫など、四季折々の自然を観察する観察会を、市民団体への委託事業として実施。5月末時点で3回開催、2回が天候不順により中止となった。
- ・「自然分野のサイエンス教室」バックヤードツアー等の教室を4回（6月、10月、11月、3月）、地質をテーマにした観察会を含む3回連続講座（9月～11月）を実施予定。
- ・「自然サポーター研修会」新規の事業として自然分野の調査研究等を行う自然サポーターを養成することを目的とした講座。9月から10月にかけて実施予定。
- ・「自然観察（地層・林）」学習支援を目的に、小・中・高等学校の依頼に基づき、生田緑地内の地層及び林の観察会を実施。依頼は4月から受入中。
- ・「総合的な学習の時間支援」小・中・高等学校の依頼に基づき、総合的な学習の時間の支援。依頼は4月から受付中。

【天文分野】 弘田

- ・「アストロテラス公開」平日昼間にアストロテラスを公開して太陽の観察を行う。また、月に2回程度、日曜日に「昼間の星を見る会」を開催し、太陽と1等星や惑星などを観察。
- ・「星を見る夕べ」夜間の天体観察会。月2回土曜日、夏休みにあたる8月は毎週土曜日の計4回実施。現在、定員100名の事前募集制となっている。
- ・「特別観望会」珍しくかつ観察しやすい天文現象等を観察するもの。今年度は該当する天文現象はありません。
- ・「プラネタリウムワークショップ」小学生を対象とした年間を通じた12回の連続講座。プラネタリウムの番組を子どもたちが番組の企画・制作をし、発表会で投影する教室を実施する。12名が参加。
- ・「天文講演会」外部から講師を招き、天文等に関する講演を予定。12月頃の開催で調整中。
- ・「天文サポーター研修会」天文事業ボランティアの会合を毎月1回実施。事業の準備やスキルアップの研修。
- ・「プラネタリウムイベント投影」プラネタリウムの星空と音楽の生演奏を楽しむコンサートやドーム映像を使ったイベントを開催予定。
- ・「かわさき星空ウォッチング」移動天文車アストロカーで市内各地に出向いて行う観察会。依頼を受けて実施。
- ・「天文分野のサイエンス教室」アストロテラスの望遠鏡を使った天体観察や日時計の工作、プラネタリウムのバックヤードツアーなどを開催予定。

【科学教育分野】 杉浦

- ・「ワクワクドキドキ玉手箱・出前科学実験教室」小中学校等の依頼に基づき、委託団体が実験教材「ワクワクドキドキ玉手箱」を活用して行う科学実験教室を通年実施。
- ・「科学分野のサイエンス教室」様々な年代を対象に、科学の楽しさに触れられる実験や工作等の体験を重視した教室を通年にて実施。5類移行をふまえ、定員数を増加していく。
- ・「サイエンスワークショップ」子どもから大人まで楽しめる初歩的な科学講座として、当日参加型の運営方式を継続して実施。5類移行をふまえ、6月から利用機会の増加をねらい、整理券方式から都度入替による運営方式に変更。また、同じく当日参加型イベントのサイエンスショーは11月・2月に開催予定。
- ・「第18回かわさきサイエンスチャレンジ」子どもの科学への関心喚起・促進を目的に、高津区溝

口の KSP (かながわサイエンスパーク) で8月に開催される「かわさきサイエンスチャレンジ」に参加。科学工作ブースやサイエンスショーを実施予定。

- ・「科学サポーター研修会」科学分野の市民活動に興味をお持ちの方を対象に、科学実験指導者として養成することを目的とした連続講座を7月から開催。
- ・「子ども創意くふう教室」子どもたち一人ひとりの創造工夫する力を伸ばすことを目的に、5回連続講座を12月に開催予定。
- ・「出前教室」科学館職員が学校や地域団体から依頼を受けて自然や科学、天文に関するテーマで出前教室を開催。現在、近隣地域の図書館から自然分野の出前教室の要請が1件あり、準備中。
- ・「ゆうゆう広場科学実験教室」川崎市適応指導教室への学校支援として、ゆうゆう広場に通う小中学生を対象に、科学館や各ゆうゆう広場にて行う科学実験教室を年間24回開催。現在、第1期の6回を実施した。
- ・「かわさき GIGA スクール構想」市域の博物館としての特性を活かし、学校の理科教育の充実につながるよう端末を活用したデジタル教材の開発・提供。現在、地層学習に関連したデジタル教材の原案を作成中。
- ・「青少年科学館「紀要」等出版物の刊行」調査研究等、学芸事業の成果を「紀要第34号」に取りまとめ。紀要への査読の導入、紙媒体での刊行、公表時期等、紀要の在り方について他館での状況を参考に検討予定。現在、他館への調査を実施中。

【質疑応答】

山岡委員 星を見る夕べの定員100名とのことだが、定員以上の希望者はいるのか。

弘田 多くの希望がある。5月まで定員50名で多い時には6~7倍ということもあった。6月からの定員は100名としているので緩和されるのではないか。

山岡委員 申込者の参加率はどうか。

弘田 参加率は大変高い。曇りや雨の時でも8割いらっしゃる。

山岡委員 曇った時の工夫がよいのだと推察する。

弘田 ありがとうございます。

南条委員 紀要はデジタルでの公開はないということか。

高中 科学館HPでPDFにより公表している。紙媒体について検討をしているところ。

常喜委員 査読の導入と紀要の検討とのことだが、他館への調査状況はどうなっているか。

高中 21施設へアンケートを送付し、現在9施設から回答があった。その内の6施設は査読を導入していないとの回答。3施設については、施設内部査読者1名、内部と外部の査読者各1名、著者が査読者を見つける、といった状況であった。

常喜委員 9館中3館は査読を導入ということか。

高中 そのとおり。

常喜委員 大学での紀要では査読がないと価値が低いとみられがち。査読の導入はした方が良く思う。大学でも外部査読は多くはないと思うので、内部査読でも仕方ないかとは思いますが査読は導入した方がよい。

高中 当館の紀要には市民からの投稿があるが、査読がないと表に出せないのか、体裁が整っていればよいのかなど、査読の是非にもかかるのかと感じている。

佐藤委員 自然観察 地層・林 とあるが、特定の季節などに集中するか。

高中 地層は6年生の学習で、時期は例年5月以降にポツポツ入り9月や12月、秋口に依頼が多くなる。林の観察については、低学年も依頼があるが、3年生の総合学習では確実に見ることができる樹木を中心に実施している。時期が偏っていることはない。

佐藤委員 川崎市は子どもが多いが、ダブルブッキングなどで依頼を断ることがあるか。

高中 ダブルブッキングはある。受入れは、火・金曜日の午前・午後で各4グループまでとしている。自然科学班は5名で、学校と調整しながら対応している。

服部部長 自然観察の地層・林だが、主な対象は小学校の高学年か。

高中 小学6年生が主となる。

服部部長 中学校や高校はどうか。

高中 先日、中学校の対応をした。

(5)「2 事業計画 (5)ネットワーク事業」について事務局より説明

【展示・企画】 杉浦

- ・「神奈川リレー科学実験教室」神奈川県立青少年センターとの共催で、県内・市内の科学に関心をもつ子どもの育成を目的とした実験教室。7月の開催に向け、共催団体と準備中。
- ・「FIELD MUSEUM 展」専修大学ネットワーク情報学部との共催。学生がデザインした様々な科学分野、生田緑地の体験型教材等を、ワークショップ形式の体験会として令和6年1月に開催予定。
- ・「川崎市臨海部企画展示」川崎市臨海部事業推進部との連携による企画展示を予定。関連部局と日程等を調整中。

【調査研究・収集保存】 高中

- ・「川崎市域の生物調査」かわさき自然調査団と共著で調査結果を公表予定。また、「神奈川県植物誌調査会」の川崎ブロック事務局として資料の受入や問合せ等に適宜対応していく。

【学習支援】 杉浦

- ・「職場体験・職業インタビューの実施」中・高等学校の依頼に基づき、博物館業務の一部を体験学習させる職場体験や、博物館業務全般についての解説をする職業インタビューを行う。現時点で6つの学校団体からの要請を受け、6月に1校実施した。
- ・「中学校連合文化祭開催への協力」市内中学生の理科教育を通じた交流の場である連合文化祭に会場協力し、10月にプラネタリウムや展示利用の機会を提供予定。
- ・「教員・職員等研修の受入れ」市内外の教員研修や博物館学芸員実習を適宜対応・実施予定。
- ・「川崎市小・中学校理科優秀作品展」子どもたちの励みとなり、市民の科学への関心を高められるように、小・中の各校種で開催された科学作品展の優秀作品を科学館にて展示し、来館者に市内児童・生徒の研究活動を紹介。

【地域振興・生田緑地内】 弘田

- ・「図書館、区役所等との共催事業」プラネタリウムでの読み聞かせ事業、区民祭等、各種イベントの共催、連携の推進。
- ・「地域の大学、団体等との共催事業」インターンシップの受入れ等、地域の大学・団体等との連携を適宜対応。
- ・「生田緑地ミュージアム」9月に予定されているオータムフェスタの開催にあたり、指定管理者、

生田緑地内施設と連携。

- ・「生田緑地内施設との共催事業」日本民家園との共催で「七夕」「お月見」のイベントを実施し、プラネタリウムの関連番組の投影等を行う。
- ・「各施設の回遊性の向上」全体会議等を通じた緑地内施設と指定管理者との情報共有、横断的広報活動の推進や生田緑地内施設、藤子・F・不二雄ミュージアムとの連携によるスタンプラリーの開催など、施設の回遊性の向上を図る。

【質疑応答】

高橋委員 作品展、連合の展示協力は学校としてありがたい。市内の作品展は保護者も関心があるので今後も継続を。

(6)「2 事業計画 (6)管理運営」について事務局より説明

【管理運営】 渡邊

- ・「管理業務」今年度は第3期指定管理の1年目。指定管理者は第2期と同じ生田緑地共同事業体。引き続き、指定管理者と連携し、円滑な事業運営を行っていくとともに、指定管理者の特色を生かした自主事業の実施について支援していく。
- ・「危機管理」館の災害対応マニュアルについて、収蔵資料の保全も含め、内容整備を進めていく。昨年度に引き続き、当館関係者が参加する防災避難訓練・講習を行い、適切な対応の確保を図る。
- ・「進行管理」当部会での御助言を踏まえつつ、事業の実施・進行管理を行っていく。

【科学館の魅力を高めるサービス展開】 渡邊

- ・「広報計画」科学館だよりの小学校全家庭配布を始めとして、リーフレットや、ホームページ、SNSの活用を積極的に行い情報発信していく。
- ・「魅力を高めるサービス展開」適切な接遇や職員の専門性を高める研修などによるスキルの底上、カフェ・ショップにおけるサービスの向上、来館者の利便性向上等を図り、館全体の魅力を高めていく。
- ・「多様な利用者への配慮」当館の施設設備はバリアフリー対応となっている。外国人来館者に対しては外国語のパンフレットを用意し、利便性の向上を図る。

【質疑応答】

服部部長 危機管理について、最近地震がときどきあるが訓練は実施しているのか。

渡邊 訓練については9月に予定している。

服部部長 施設が新しいので耐震上は問題ないと思うが、訓練の実施は必要。

久保館長 昨年の訓練ではキャリダンというものを使用して、自力で階段を降りることができない方の避難を想定し、機械を使用して階段を降りていくということを行った。

服部部長 生田緑地内の収蔵について、民家園の倉庫に湿気による不具合があるとのことを聞いたが、科学館は問題ないか。

渡邊 先日の線状降水帯による大雨の際、プラネタリウムの天井から水漏れがあり、座席が濡れた。その後の雨では雨漏りはないが、調査中である。

服部部長 市民ミュージアムの資料移設についてどうなっているか。

久保館長 生田緑地は候補地の1つとなっている。事業説明会等について川崎市のHPで公表されている。

南条委員 市内には外国人も多いが、SNS等で、外国語による発信はあるか。

渡邊 今のところ予定はない。

南条委員 項目だけでも英語があると伝わると思うがどうか。

渡邊 英語ができる職員はいるかもしれないが、今のところ予定はない。

服部部会長 事業計画については以上となるが、意見等ありますか。

特にないようなので了承でよろしいでしょうか。

(特になし)

了承ということで、よろしく願いいたします。

次第の6 報告事項について

(1)今後のスケジュールについてについて事務局より説明

渡邊 「令和5年度 青少年科学館専門部会 今後のスケジュールについて」今年度は、事業の中間報告を行う第2回目を10月下旬から11月上旬ごろに、委員個別の視察を行う第3回目を11月下旬から12月上旬ごろに、事業評価を行う第4回目を3月に開催する予定。時期をみて日程調整をさせていただく。

【質疑応答】

服部部会長 事務局からの説明等について、意見等ありますか。

特にないようなので了承でよろしいでしょうか。

(特になし)

了承ということで、よろしく願いいたします。

服部部会長 本日の議題・報告事項については以上ですが、委員の皆様、その他に何か御意見・御質問等ございましたらお願いします。

(特になし)

ないようでしたら、進行を事務局にお返しします。

委員の皆様、御協力ありがとうございました。

その他、事務局から連絡事項等（渡邊）

報酬の振込日は7月14日（金）の予定。変更等があればメールで知らせる。

口座変更がある場合は事務局渡邊まで提出依頼。

7 閉会（渡邊）

服部部会長、議事ありがとうございました。また、委員の皆さまも御助言ありがとうございました。

以上を持ちまして、第1回専門部会を閉会いたします。本日はありがとうございました。